

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 当院における支援の必要な妊婦のスクリーニングとエジンバラ産後うつ病自己評価表との関連
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 看護部技手1級 3BM病棟 助産師 吉元 ゆり子
<研究期間> 機関の長の初回許可日 ～ 令和 8（西暦 2026 ）年 5 月 31 日
<対象となる方> 西暦 2023 年 6 月 1 日から西暦 2025 年 5 月 31 日の期間に日本大学医学部附属板橋病院（以下当院とする）で分娩され、かつ当院で産後 1 か月健診を受診した方。
<研究の目的> 本研究では、当院産科における支援を必要とする患者様のスクリーニング方法の有効性を検討いたします。また、出産後に母親が抱くうつ状態を客観的に評価する尺度（エジンバラ産後うつ病自己評価表）を用いた評価値との関係を明らかにすることで、支援を必要とする患者様に対し、当院でのさらなる支援の拡大につなげることを目的としています。
<研究の方法> 当院では、妊婦健診時や妊娠、出産、産褥の入院期間に、当院独自のスクリーニング用紙を用いて、支援を必要とされている患者様のスクリーニングを行っています。また、産後 1 か月健診の際に患者様ご自身でエジンバラ産後うつ病自己評価表を記載していただき、産後のうつ状態の評価を行っています。以上のスクリーニング用紙およびエジンバラ産後うつ病評価表の情報を集計し相関関係を検討いたします。
<研究に用いる試料・情報の項目> 当院産科独自のスクリーニング用紙、エジンバラ産後うつ病評価表
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院 （東京都板橋区大谷口上町 30 番 1 号） 看護部技手1級 3BM病棟 助産師 吉元 ゆり子 電話：03-3972-8111 内線：3330/3380

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方